

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和8年 6月 29日

都道府県知事

殿



提出者

住 所 喜多方市字桜ガ丘二丁目116番地

氏 名 株式会社 高橋建設

代表取締役 水戸 隆

電話番号 0241-22-6095

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 高橋建設
事業場の所在地	福島県喜多方市字桜ガ丘二丁目116番地
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	中分類：総合工事業 小分類：一般土木建築工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 7億9329万円（令和7年実績）
③ 従業員数	30人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

廃棄物担当役員 (代表取締役)

廃棄物副担当役員 (常務取締役)

環境管理委員会: 産廃処理方針の決定及び現場指導

産廃管理者 (工事部長): 産廃報告書の管理

廃棄物担当 (工事部): 産廃処理の集計管理

産業廃棄物担当役員 (代表取締役)

産業廃棄物担当副役員 (常務取締役)

環境管理委員会

工事部

工事部長

廃棄物担当 (集計)

廃棄物担当 (現場)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (7 年度) 実績】 /		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり /	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 各種類毎に発注者と協議を行って、現場施工方法の工夫し、発生量の抑制を図り、再資源化施設へ排出した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり /	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も、各種類毎に発注者と協議を行って、現場施工方法の工夫し、発生量の抑制を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類毎に分別し、それぞれの中間処理施設へ運搬した。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 【がれき類】鉄筋コンクリートをコンクリート塊と、鉄筋に分別して、コンクリートは再生骨材に、鉄筋は売却処分を検討する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	【がれき類】 再生骨材製造する中間処理業者を選定して処分委託することで再利用している。 【木くず】 木質チップを製造する中間処理業者を選定して処分委託する。 【金属くず】 売却処理して、産廃処理委託金額を軽減してる。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	ノ
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 【がれき類・木くず】 現在委託してる再生利用業者に加え、優良認定された処理業者が現れれば、処理委託を検討する。		
	※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成
工 事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が
分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの
一 連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間
処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理
を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を
記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第
6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設
置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業
者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理
委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類
が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき
内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」
を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 様式第二号の八（第八条の四の五関係）の詳細

第2面 産業廃棄物の搬出の抑制に関する事項 /

①令和7年度の実績排出量 /	(種類) (発生量)	コンクリートガラ アスファルトガラ レンガガラ 木くず(破砕) 金属くず 建設汚泥 廃プラスチック がれき(石綿含) 木くず(焼却) ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	377.17t / 353.47t / 0.00t 754.6t / 0.00t 5.15t / 6.56t / 0.00t 0.00t 0.00t
②令和8年度の計画排出量 /	(種類) (発生量)	コンクリートガラ アスファルトガラ レンガガラ 木くず(破砕) 金属くず 建設汚泥 廃プラスチック がれき(石綿含) 木くず(焼却) ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	500.t / 500.0t / 0.00t 500.0t / 0.0t 5.0t / 5.0t / 0.0t 0.0t 0.0t

第4面 産業廃棄物の処理の委託に関する事項
現状

令和7年度の全処理委託量	(種類) (発生量)	コンクリートガラ アスファルトガラ レンガガラ 木くず(破砕) 金属くず 建設汚泥 廃プラスチック がれき(石綿含) 木くず(焼却) ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	377.17t / 353.47t / 0.00t 754.6t / 0.00t 5.15t / 6.56t / 0.00t 0.00t 0.00t
優良認定処理業者への処理委託量	(発生量)		0.00t 0.00t 0.76t / 0.00t 0.00t 6.56t / 0.00t 0.00t
再生利用業者への処理委託量	(発生量)		377.17t / 353.47t / 0.00t 754.6t / 0.00t 5.15t / 6.56t / 0.00t 0.00t 0.00t
認定熱回収業者への処理委託量	(発生量)		0.00t 0.00t 0.00t 0.00t 0.00t 0.00t 0.00t 0.00t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	(発生量)		0.00t 0.00t 0.00t 0.00t 0.00t 0.00t 0.00t 0.00t

第5面 計画

令和8年度の全処理委託量	(種類) (発生量)	コンクリートガラ アスファルトガラ レンガガラ 木くず(破砕) 金属くず 建設汚泥 廃プラスチック がれき(石綿含) 木くず(焼却) ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	500.t / 500.0t / 0.00t 500.0t / 0.0t 5.0t / 5.0t / 0.0t 0.0t 0.0t
優良認定処理業者への処理委託量	(発生量)		0.00t 0.00t 0.00t 0.00t 5.0t / 0.00t 0.00t 0.00t
再生利用業者への処理委託量	(発生量)		500.t / 500.0t / 0.00t 500.0t / 0.0t 5.0t / 0.0t 0.0t 0.0t
認定熱回収業者への処理委託量	(発生量)		0.00t 0.00t 0.00t 0.00t 0.00t 0.00t 0.00t 0.00t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	(発生量)		0.00t 0.00t 0.00t 0.00t 0.00t 0.00t 0.00t 0.00t